第２号様式甲（第４条関係）　　（在学応援資金用）

奨　学　生　調　査　票

学校名　　第　　学年　　組　氏名

１　在学応援資金を活用して何を行いたいか（できるだけ詳しく記入してください）

使途内容と作文でかいた目標を絡めて書けると良いと思います。
（次のように１行書いて終わりにしないように！下記は悪い例です。）
×塾にいって、大学に合格したいです。
×学費に充てたいです。
×在学応援資金を活用して、英語検定〇〇級を取りたいです。
４行が埋まるように、文章で書きましょう！（作文審査ではこの用紙の１，２の内容と作文の「目標」「行動計画」を照らし合わせて、評定しています。

２　在学応援資金の使途について（できるだけ詳しく記入してください）

品名（使途、単価、数量）	金額（円）
●学校納付金　施設整備費（@10,000×12ヶ月分）	１２０，０００
〃　教育拡充費（@60,000×３期分）	１８０，０００
〃　修学旅行積立金（@10,000×12ヶ月分）	１２０，０００
〃　選択〇〇コース授業料（年間）	１９１，０００
●英語検定料（準２級 8,500、２級 9,100）	１７，６００
全統模試代（@6200×３回）	１８，６００
大学検定料料（〇〇〇〇大学）	４０，０００
●問題集　英語検定２級（過去問）	１，８７０
参考書　数学Ⅲ+C	２，５４１
●塾代　入学金	３３，０００
〃　（週２回）英語、数学（月 22,500×12 か月）	２７０，０００
●バレー部　部費（月 5,000 円×12ヶ月）	６０，０００
〃　合宿（長野 8/6～9 予定）３泊４日	４８，０００
〃　ユニフォーム上下	２２，８００
〃　遠征費（１回 1,000 円×５）	５，０００
●ダンス部　大会出場登録料（年間）	２，０００
〃　衣装代（コスチューム、シュシュ等）	２５，３００

※使途の内訳

上記は一例です。これだけに限定するものではありません。
学校納付金２５万、塾代３５万、部活１８万というようにまとめた書き方ではなく
内訳や品名、金額を具体的に記載してください。
ご不明な点がありましたら、担当までお問い合わせください。(03-5742-6385)

３面接可能日

1
1

両日、可能な時間帯を多くしてください。